

2. 情報発信、啓発等

(1) 論文発表(査読有)

- ・尾崎, 和田, 村上, 中島, 古米 (2017)「公表調査データの統計解析による市街地ノンポイント汚濁負荷流出量の予測とその信頼性評価」水環境学会誌, 40(3), 115-124.

(2) 学会・シンポジウム発表

- ・第51回日本水環境学会年会(2017年3月、熊本県、熊本大学)
和田 他「琵琶湖淀川流域の降雨分布変化と水質への影響検討」
- ・瀬戸内海研究フォーラム(2017年9月、京都府、京都大学)
和田, 津野 他「流域連携による琵琶湖・淀川流域の難分解性有機物に関する調査検討」
- ・14th IWA Watershed and River Basin Management(2017年10月、南アフリカ)
K.Wada *et al.* “Water Environment Management Utilizing Monitoring Data and GIS Data – The Change in the Lake Biwa-Yodo River Basin”
“Diffuse Pollution Revisited, The case for a new definition & rationale”(基調講演者と共同)

(3) 講演、社会活動等

- ・水道産業新聞 座談会取材(2017年2月)
「日本水道協会品質認証業務の活動と意義」誌上掲載
- ・平成28年度 公益財団法人琵琶湖・淀川水質保全機構調査研究成果報告会(2017年3月)
「琵琶湖・淀川における難分解性有機物を対象とした流域総合水質管理計画に関する特別調査研究」
- ・日本水道協会(関西ウォーターワークス) 招待講演(2017年7月)
「琵琶湖・淀川流域の水質保全、水質浄化技術および水質管理」
- ・環境省環境調査研修所 講義(2017年8月)
国・自治体職員を対象とした水質分析研修においてデータ活用・解析等の意義
- ・国際湖沼委員会(ILEC, JICA) 講義(2017年9月)
「琵琶湖・淀川流域における水利用、水質浄化技術の紹介」
「大阪における下水道の概要と河川・大阪湾における水質保全について」
- ・第35回オゾン技術に関する講習会・見学会(日本オゾン協会) 講演(2017年11月)
「琵琶湖・淀川流域における水環境問題の変遷と保全の視点」
- ・平成29年度水資源機構 関西/吉野川支社環境学習会(2017年12月)
「水質モニタリングとデータ管理・評価」
- ・共同研究:平成29年度下水道技術研究開発(GAIAプロジェクト)
「雨天時に市街地から流出するノンポイント汚濁負荷量の予測モデル開発」(研究代表者:広島大学大学院准教授尾崎則篤の共同研究者)
- ・国際貢献:海外調査における技術支援(2017年12月、ネパール)
京都大学、愛媛大学、トリバン大学(ネパール)との共同研究



「琵琶湖・淀川における難分解性有機物を対象とした流域総合水質管理計画に関する特別調査研究」成果報告会